

【本日の目次】

1. 市況情報

- ◆本日の株価指標等
- ◆第一部前・後場概況

2. セミナー情報

- ◆+YOU ニッポン応援全国キャラバン開催予定

3. コラム

- ◆証券取引等監視委員会からの寄稿

=====
※ 以下については、証券取引等監視委員会のウェブサイト掲載にあたり、上記
目次 3. コラムを抜粋しております。
=====

証券取引等監視委員会からの寄稿

投稿 No. 110

事実を事実として

証券取引等監視委員会事務局 開示検査課長 松重 友啓

私事で大変恐縮ですが、去る5月上旬の連休を利用して、沖縄を訪れました。訪問先の中で最も深く心に刻まれているのは、「島守の塔」です。この塔は、太平洋戦争敗戦前の最後の沖縄県知事である島田勲（あきら）知事、及び同じく戦没された四百数十名（建立当初は三百数十名の由）の沖縄県職員の方々を慰霊するため、平和祈念公園内に建立されています。

島田知事は旧制神戸二中・三高・東大へと進まれ、学生時代は野球の名選手として活躍されました。内務省に奉職され、主に各地の警察関係の職務を歴任し大阪府内政部長に就任後、昭和20年1月、沖縄県知事に発令されています。前年（昭和19年）7月に「絶対国防圏」の中核サイパン島の守備軍が全滅し、沖縄来攻が目睫の間に迫っていた時期でしたが、島田知事は、送別の席で「断」の一字を認めて、鉄火必至の任地に赴かれました。1951年（昭

和 26 年) 6 月に挙行された「島守の塔」除幕式で浦崎祭典委員長(島田知事時代の沖縄県人口課長)は、大要以下の弔辞を捧げています。「あなたが沖縄県知事を引受けられたとき、“俺が行かなければ誰が行かねばならないぢやないか、俺は死にたくないから、誰か行って死ねとは言えないぢやないか”とお仰いました。」「あなたは、縁もゆかりもないこの南の果ての島に、これ程の決心と覚悟を以て、この島を護り、吾々住民を護る為に、はるばるおいで下さいました。」「あなた方の流された血は、この島を真赤に染めました。そしてこの尊い血が地球の上に再び平和を迎えて下さいました。」「ねがわくば、あなたの部下三百数十名の英魂を、否沖縄戦で散った無数の住民の英霊を率いていつまでも、この島の守神として吾々住民に仰がれて下さい。」

訪問当日、香花を手向けた幼児連れ御夫婦に続いて塔前に佇立し、公務員の偉大な先人の心裏に思いをはせつつ暫時の間、垂れていた頭を上げると、初老の御夫妻が静かに、筆者が退き下るのを待っていて下さいました。

島田知事の事績については、古書店で運良く手に入れた『沖縄の島守 島田叡 親しきものの追憶から』(島田叡氏事跡顕彰会)で詳しく知りました。同書中には、大阪府内政部長時代の部下であった方による、当時の日記に基づく寄稿があります。その中に、次のような記事を見つけました(用字等は適宜筆者修正)。

「同年(昭和 19 年:筆者補記)10 月 3 日(金) 内閣の昭和 19 年第一回米予想収穫高報告書作製につき、大阪府より提出したる収穫高につき再調方電報あり。島田内政部長、重成第一部長を中心に協議す。

同年 10 月 4 日(土) 昨日打合せの米予想収穫高につき内閣に返電する。

「府提出の統計は正確なり」なお内容説明のため…統計課員…を内閣に出頭せしむ。」

寄稿された方の解説によれば、当時は、戦争遂行上、国民生活に必要な米の収穫高は、内閣、特に軍の最大関心事でした。再調査を要請された背景には、大阪府から報告された予想収穫高が、内閣・軍が想定・期待する水準に達していなかったという事情があったものと推察されます。しかしながら、島田部長は「事実を事実として統計すべき」との信念を貫き、部下である統計作成者を信頼して、大阪府の報告を故なく訂正する必要はないとの結論を下されたのでした。

筆者の職掌分野である企業開示の世界では、会社の経営状況等を正確に開示することが求められますが、現実には、不正確・不適正な開示が行われる事例も見受けられます。その背後では、前述の元大阪府職員の方と同様の苦渋を味わっている方々がおられるのではないかと推察されます。開示検査が、こうした企業内部等での葛藤を直接的に裁断するのは難しいかもしれません。しかしながら、筆者としては、島田知事の足下にすら及ばないながら、せめてその信念だけでも見習いつつ、利用可能なあらゆる方策を活用して、

一社でも多くの企業に「事実を事実として」開示していただけるための環境整備を図っていかねばならないと、改めて、肝に銘じている次第であります。

※文中、意見に関わる部分は、筆者の個人的見解です。

■証券取引等監視委員会ウェブサイト

<http://www.fsa.go.jp/sesc/index.htm>

■証券取引等監視委員会では、その活動状況やウェブサイトの更新情報などを配信しています。

<http://www.fsa.go.jp/sesc/message/index.htm>